

1 教科について

昨年度課題

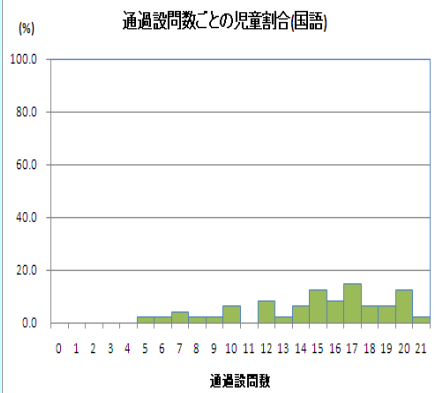
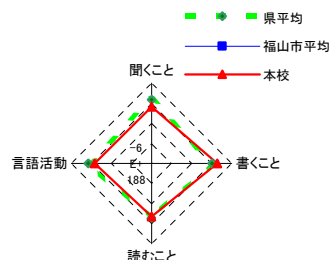
- ①【☆】漢字を正確に書いたり、読んだりできない。
- ②【☆】段落の意味を理解することや、考えを文章化することができない

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①漢字の由来・特質を理解させ、プリント学習をくり返し行うことで定着を図る。
- ②学習のまとめとして、手紙や新聞づくりなどの書く活動を充実させる。その後、必ず推敲をさせる。

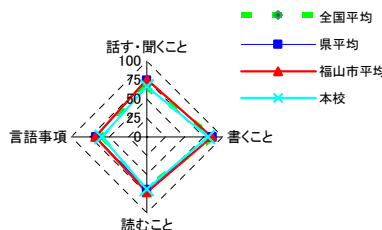
「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	75.0 %
福山市平均	75.5 %
学校平均	70.9 %



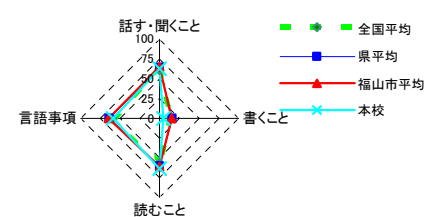
全国学力・学習状況調査正答率(A問題)

全国平均	69.9 %
県平均	72.9 %
福山市平均	73.3 %
学校平均	66.0 %



全国学力・学習状況調査正答率(B問題)

全国平均	50.5 %
県平均	53.8 %
福山市平均	54.0 %
学校平均	51.8 %



※ この調査結果は児童の学力の特定の一部を示したものです。

重点課題

- ①【☆】前学年までの漢字の読み書きに課題がある。特に、低学年で習った漢字に課題がある。
- ②【☆】文学的な文章の表現の工夫(場面の情景の移り変わりや情景の想像)を読み取ることに課題がある。  
児童が目的を持って学習に臨めるような単元の学習を行う必要がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

全教科・全校で取り組むこと

- ①既習の漢字をノート等で日常的に使うことを重点的に指導する。また、漢字に興味を持つ取組みを工夫する。
- ②児童に学習の目標を単元ごと、毎時間ごとに持たせることで、主体的な学習活動を仕組んでいく。

国語科で取り組むこと

- ①辞書を使って、分からない漢字や言葉を調べることがを適宜取り入れ、既習の漢字の定着を図る。
- ②活動目標をゴールとした単元を仕組むことで、ことばを大切にしながら読む力を育てる。

来年度の目標値

- ①基礎基本定着状況調査の「言語事項・漢字の読み・書き」に関連する設問の通過率を、県平均以上にする。
- ②全国学力学習状況調査の「読むこと」に関連する設問の通過率を全国平均以上にする。

# 授業改善シート〔算数〕

校番(9) 福山市立 泉 小学校

## 1 教科について

### 昨年度課題

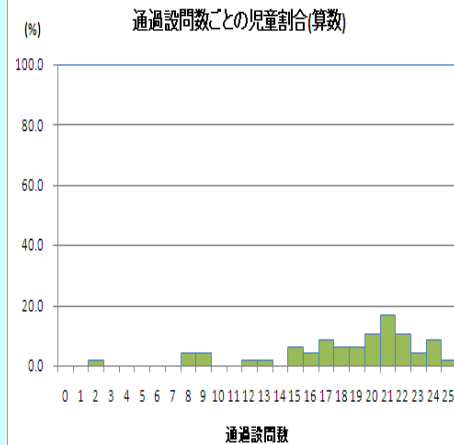
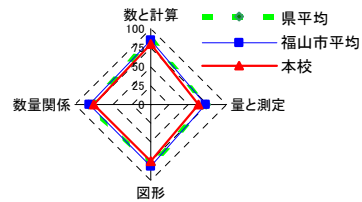
- ①【◎】 ml, dl など, 単位の大きさが日常生活に結びついていないため, 量感が育っていない。
- ②【◇】 友達の考えが正しいかどうかを, 数学的な根拠を基に判断し, 理由を分かりやすく記述することができない。

### 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①単位の指導をする際には, 具体的な場を通して単位量をイメージさせ, より理解が深まるよう指導した。
- ②友達のたてた式や考え方について意見交流を行う場を設け, 考えを述べ合う授業を行った。

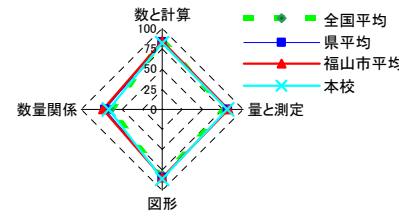
### 「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	79.8%
福山市平均	79.9%
学校平均	73.4%



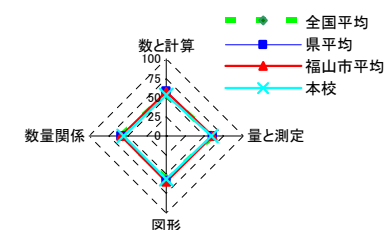
### 全国学力・学習状況調査正答率(A問題)

全国平均	78.7%
県平均	81.3%
福山市平均	82.0%
学校平均	79.8%



### 全国学力・学習状況調査正答率(B問題)

全国平均	54.8%
県平均	56.6%
福山市平均	56.1%
学校平均	53.4%



※ この調査結果は, 児童の学力の特定の一部を示したものです。

### 重点課題

- ①【☆】 数量の変化の様子を読み取ることに課題がある。グラフを読み取るポイント等を児童自身が見つけ, 整理する活動を取り入れる必要がある。
- ②【☆】 図形の面積を求める設問で誤答割合が高い。また, 三角形の面積を求める設問についても, 若干, 全国平均を下回っている。基礎的な事項(例・三角形の面積の公式)を生かして考える場を設定する必要がある。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法

#### 全教科・全校で取り組むこと

- ①資料(写真・絵・図等)を読み取るポイントを各教科の特性に合わせて指導する。
- ②国語科を中心としてペア学習などを取り入れた指導を行い, 1つの課題に対して多様な見方・考え方を交流する授業を仕組む。

#### 算数科で取り組むこと

- ①意見交流する場面を多く取り入れ, 児童自身が変化の規則性や資料の読み取りのポイントに気づく力を育てる。
- ②確実に定着させる取組み(ドリル学習等)を行い, 既習事項を定着させる。

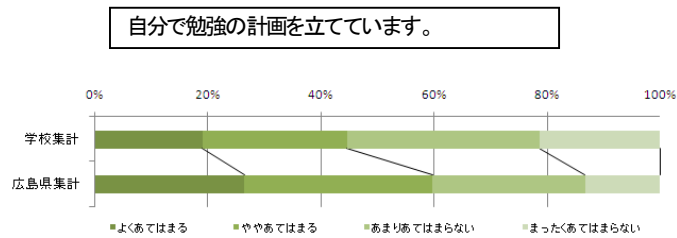
### 来年度の目標値

- ①基礎基本定着状況調査「数量の変化に関する設問」において, 県平均を上回る。
- ②図形の面積に関する設問において(全国学力学習状況調査, 又は, 基礎基本定着状況調査のどちらかで), 県平均を上回る。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査, 児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙, 児童質問紙)

(1) 生活・学習

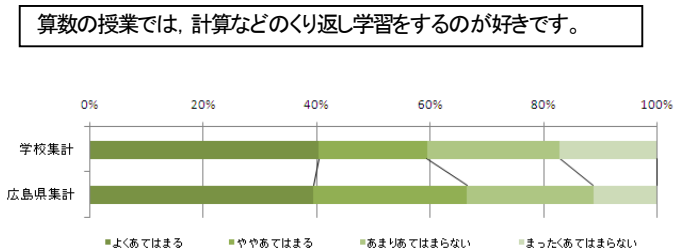
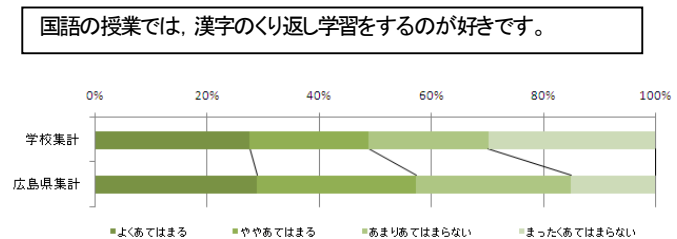
校番(9) 福山市立 泉 小学校



改善したい点(◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎就寝時刻や起床時刻が一定しておらず, 規則的な生活習慣が見についていない児童の割合が県平均より高い。	◎家庭と連携をし, 発達段階に合った生活習慣を身に付けられるように取組みを行う。
◇自分で計画を立てて家庭学習をする児童の割合が, 全国平均より低い。	◇発達段階に応じた家庭学習の時間の目安や学習方法を保護者に提示し, 家庭での学習習慣を定着させる。

来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝, 起床時刻が定着した児童を, 県平均以上にする。</li> <li>・自分で時間管理をして, 家庭学習に取り組める児童を県平均以上にする。</li> </ul>

(2) 教科



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎漢字等の繰り返し学習をすることに, 消極的な回答の割合が高かった。  ◇自分の考えなどを発表するときに, 話の組立てを工夫して, 分かりやすく話すことが苦手と感じている児童の割合が高かった。	◎漢字等の繰り返し学習を行うときに, 児童が目的や学習することの意味を理解できるような指導方法の工夫を行う。  ◇叙述に即して, 考えの根拠を持って意見を言う学習活動を授業に積極的に取り上げていく。
算数	◎算数の授業はよく分かる・好きと回答する児童の割合が高いと同時に, 計算等の繰り返し学習に消極的な回答をした児童の割合が高かった。  ◇算数学習が普通の生活に生きると感じている児童の割合が, 全国・県平均とともに下回っていた。	◎計算等の繰り返し学習を行うときに, 児童が目的や学習することの意味を理解できるような指導方法の工夫を行う。  ◇算数的活動を授業に取り入れた授業を仕組んでいくことで, 生活と学習を関連付ける意識を持つ児童を増やしていく。

来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字等の繰り返し学習に肯定的な回答を県平均程度(60%)にする。</li> <li>・算数の授業と生活との関連を意識する児童の割合を全国・県平均程度(65%)にする。</li> </ul>

### 3 指導改善のための実施スケジュール

校番(9) 福山市立 泉 小学校

